

## 【球技】（ゴール型：バスケットボール）

### 1 運動の特性

#### （1）一般的な特性

##### ○機能的特性

〈ゴール型共通〉

- ・ドリブルやパスなどのボール操作で相手コートに侵入し、シュートを放ち、一定時間内に相手チームより多くの得点を競い合うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

〈バスケットボール〉

- ・バスケットボールは、パスやドリブル、シュートなどを駆使し、集団的な技能や戦術などを競い合うことや作戦を立てて勝敗を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

##### ○構造的特性

〈ゴール型共通〉

- ・ドリブルやパス、シュートなどの個人的技能と、チーム内で協力し合って攻撃や防御を行うなどの集団的の技能からなる運動である。

〈バスケットボール〉

- ・ドリブルやパス、シュートなどのボールコントロールやボディコントロールなどの個人的技能や、攻撃の際にゴール前の空いている場所に走り込み得点しやすい空間を作り出すなどの集団的の技能からなる運動である。

##### ○効果的的特性

〈ゴール型共通〉

- ・2チームの選手が入り乱れ、ときには身体接触をとめないながらゲームを展開するので、ボールコントロールすることはもちろん、相手や味方の動きを把握し、それらに対応した素早い身のこなしが必要となるため、巧緻性、敏捷性、スピード、全身持久力を高めることのできる運動である。

〈バスケットボール〉

- ・上記に加えバスケットボールでは、攻撃の際、ゴール前の空いている場所に走り込む動きやフォーメーションなどによる空間を作り出す動きが重要となるため、ゲーム展開を予測する判断力を養うことのできる運動である。

#### （2）生徒から見た特性

〈ゴール型共通〉

- ・ドリブル、パス、シュートなどのボール操作が調子よくできるようになったときに、うれしいと感じる。
- ・ゲーム中に、できるようになったボール操作を使って、チームに貢献できたときに、うれしいと感じる。
- ・ボール操作がうまくできない者には必然的にパスが回ってこなくなり、ゲームがおもしろくないと感じてしまう。

〈バスケットボール〉

- ・バスケットボールでは、ゲーム中に自分の役割を果たすことができ、さらにシュートを決めることができたときに、うれしいと感じる。
- ・練習でボール操作がある程度習得できても、ゲームの中では瞬間的な状況判断からのボール操作が要求されるので、練習ほどうまくボール操作ができず、技能の習得につまずきを感じやすい。

### 2 学習のねらい

#### ○技能

[第1学年及び第2学年]

- ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開できるようにする。

[第3学年]

- ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。

## ゴール型のボール操作とボールを持たないときの動きの例

	小学校5・6年	中学校1・2年	中学校3年
ボール操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーの見方へのパス</li> <li>・ドリブルでのキープ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守備者がいない位置でのシュート</li> <li>・フリーの味方へのパス</li> <li>・得点しやすい味方へのパス</li> <li>・パスやドリブルによるボールキープ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守備者が守りにくいシュート</li> <li>・ゴール内へのシュート</li> <li>・味方が操作しやすいパス</li> <li>・自分の体で防いだキープ</li> </ul>
ボールを持たないときの動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーの位置のポジショニング</li> <li>・パス受けからのシュート</li> <li>・シュートコースに立つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールとゴールの見えるポジショニング</li> <li>・ゴール前への動きだし</li> <li>・ボール保持者のマーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールから離れる動き</li> <li>・パス後の次のパスを受ける動き</li> <li>・ボール保持者の進行方向から離れる動き</li> <li>・ボールとゴールの間でのディフェンス</li> <li>・ゴール前の空いている場所のカバー</li> </ul>

### ○態度

[第1学年及び第2学年]

- ・球技に積極的に取り組むとともにフェアなプレーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，作戦などについて話し合いに参加しようとするなどや，健康・安全に気を配ることができるようにする。

[第3学年]

- ・球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとするなど，自己の責任を果たそうとすること，作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや，健康・安全を確保することができるようにする。

### ○知識，思考・判断

[第1学年及び第2学年]

- ・球技の特徴や成り立ち，技能の名称や行い方，関連して高まる体力などを理解し，課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

[第3学年]

- ・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動の観察方法などを理解し，自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

### 3 評価規準

#### [第1学年及び第2学年]

##### 【内容のまとめりごとの評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。

##### 【単元の評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>作戦などについての話合いに参加しようとしている。</li> <li>仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>自己やチームの課題を見付けている。</li> <li>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>仲間と協力する場面で分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</li> <li>学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール型では、ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走り込むなどの動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>試合の行い方について学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

【「ゴール型：バスケットボール」学習活動に即した評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>①仲間とともに協力しながら活動し、バスケットボールの楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。 (行動観察)</p> <p>②フェアなプレイを心がけ、セルフジャッジを行おうとしている。 (行動観察)</p> <p>③道具の準備・片付けや場の設定などの、分担した役割に積極的に取り組もうとしている。 (行動観察)</p> <p>④戦術などの話し合いに積極的に参加しようとしている。 (行動観察・学習カード)</p> <p>⑤仲間のプレイに対してアドバイスしようとしている。 (行動観察・学習カード)</p> <p>⑥体調の変化、用具や練習場所など、自己や仲間の安全に留意している。 (行動観察)</p>	<p>①学習資料や仲間の助言から合理的なプレイを選択している。 (行動観察・学習カード)</p> <p>②自分やチームの実情に応じた課題を見付けている。 (行動観察・学習カード)</p> <p>③提示された課題解決のための練習方法の中から自己やチームの課題に適した練習を選択している。 (実技観察・学習カード)</p> <p>④チーム内で自分に任された役割について、仲間と協力できる場面を見付けている。 (行動観察)</p> <p>⑤学習した安全上の留意点を練習場面や試合場面に当てはめている。 (行動観察)</p>	<p>①パス、ドリブル、シュートなど基本的なボールコントロールをすることができる。 (実技観察)</p> <p>②色々な種類のパスを使って味方にパスができる。(実技観察)</p> <p>③自分の守る相手とゴールの間に立ってディフェンスすることができる。 (実技観察)</p> <p>④空いているスペースを見つけ、パスを出したり受けたりすることができる。 (実技観察)</p> <p>⑤アウトナンバーの状態からシュートまで結びつけることができる。(実技観察)</p>	<p>①バスケットボールの特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を言ったり書き出したりしている。 (発言・学習ノート)</p> <p>②プレイの名称や系統性・技能の構造について理解し、練習や試合の場面で技術的なポイントを言ったり書き出したりしている。 (発言・学習カード)</p> <p>③バスケットボールの学習に関連して高まる体力を書き出している。 (学習ノート)</p> <p>④バイオレーションやファールの判定、ゲームの再開方法をゲーム中に言ったり書き出したっている。 (発言・学習カード)</p>

【第3学年】

【内容のまとめりごとの評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>生涯にわたって球技を豊に実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。</p>	<p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。</p>

【単元の評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>作戦などについての話合いに貢献しようとしている。</li> <li>互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</li> <li>仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見付けている。</li> <li>健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>球技を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。</li> <li>球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>試合の行い方について学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

【「ゴール型：バスケットボール」学習活動に即した評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>①仲間とともに協力しながら活動し、バスケットボールの楽しさや喜びを自主的に味わおうとしている。 (行動観察)</p> <p>②練習や試合等で仲間の指示や審判の判定に公正な態度で取り組もうとしている。 (行動観察)</p> <p>③練習や試合においてチーム内での自己の役割を責任をもって果たそうとしている。 (行動観察)</p> <p>④戦術や仲間へのアドバイスを自主的に行おうとしている。 (行動観察・学習カード)</p> <p>⑤巧くできた、できなかったポイントをアドバイスしようとしている。 (行動観察・学習カード)</p> <p>⑥練習や試合の場面で、周囲の仲間の体調や状況に応じて活動し、安全を確保している。 (行動観察)</p>	<p>①相手チーム、自分のチームの特徴を把握し、オフェンス・ディフェンスの方法を選択している。 (実技観察, 学習カード)</p> <p>②自己及びグループの課題を明確にし、課題解決に向けた練習方法を見付けている。 (実技観察, 学習カード)</p> <p>③チームの話合いの中でお互いに意見を出し合い、ひとつの方向性を見付けている。 (行動観察)</p> <p>④個人技能や集団技能の練習方法をもとに、課題解決に向けた練習方法を選んでいる。 (実技観察, 学習カード)</p> <p>⑤自己評価や課題達成のために考えたことをまとめ、成果や課題を見付けている。 (実技観察, 学習カード)</p>	<p>①パス、ドリブル、シュートなどのボールコントロールをピボットターンやフェイントを用いて行うことができる。 (実技観察)</p> <p>②味方からパスが得られやすい空間をつくり、パスを受けることができる。 (実技観察)</p> <p>③チームディフェンスについて自己のポジションに着くことができる。 (実技観察)</p> <p>④相手とボールの間に入りスクリーンをすることができる。 (実技観察)</p> <p>⑤アウトナンバーの状態をつくり出して、シュートまで結びつけることができる。 (実技観察)</p>	<p>①バスケットボールの技術の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。 (学習カード・発言)</p> <p>②バスケットボールの学習に関連した体力の高め方について具体例を書き出している。 (学習カード)</p> <p>③仲間同士で運動観察を行う際のポイントを言ったり、書き出したりしている。 (学習カード・発言)</p> <p>④バスケットボールのルールについて理解し、ゲームの状況に応じた正しい判断を言ったり書き出したりしている。 (実技観察・発言)</p>

4 授業展開及び指導・評価計画

ゴール型：バスケットボール [第1学年及び第2学年]

(13時間計画)

過程	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (☆)
はじめ	<p>1 オリエンテーションを行う。 ○単元の目標, バスケットボールの特性, ねらい等を知る。 ○学習の見通しをもつ。 ○学習カードの記入の仕方, 学習資料の活用方法を知る。 ○課題のとらえ方や解決方法の選び方, 評価方法について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ねらいと道すじ, めあてのもち方, 授業・練習の進め方, 約束ごと, 学習カードの活用方法</p> </div> <p>2 グループ編成をする。 3 授業の流れに沿って実際の活動を行う。</p>	<p>○単元の目標やねらい, バスケットボールの特性や学習の進め方, 学習資料の活用方法, 評価について理解させる。 ○準備運動の行い方, 用具の準備, 片付けの手順について説明し, 理解させる。 ○施設・用具の安全管理と, 安全に活動することができるように役割分担させる。 ○バスケットボールの学習によって高まる体力を理解させる。</p> <p>☆【関・意・態】 ③ ☆【知・理】 ①</p>
第2時～第5時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>ねらい① 基本的なボール操作を身に付けてゲームを楽しむ</p> </div> <p>4 個人技能の練習をする。 ・ゴール下連続シュート ・サークルドリブルシュート ・パス・ランニングシュート 【資料①～③参照】 ○学習カードに各自の技能の課題を記入する。</p> <p>5 個人技能ドリルのゲームを行う。 ○個人技能ドリルを得点化してグループの合計得点で競う。 ・ゴール下連続シュートドリル ・サークルドリブルシュートドリル ・パス・ランニングシュートドリル</p> <p>6 動きの中でパス練習をする。 ○三角パス ○2対1のパス ○3対2のパス 【資料④～⑥参照】</p> <p>7 ハーフコートで3対2を練習する。 ○グループで反省会を持つ。 【資料⑬参照】</p>	<p>○学習資料や仲間の助言から自己の課題を把握させる。 ○基本的なボールコントロールを身に付けさせる。 ○グループや個人の課題が明確かつ適切であるか確認させる。 ○基本的なパスのボール操作及び, 動きの中で味方に的確なパスができるようにさせる。 ○積極的に仲間に声をかけるなど, 協力して課題解決できるようにさせる。 ○グループの仲間と協力して, 進んで練習に取り組むようにさせる。 ○グループの課題解決のために, 仲間で話し合いながら学習させる。 ○課題や目標の設定, 課題解決のための工夫させる。</p> <p>☆【関・意・態】 ①②⑥ ☆【思・判】 ①② ☆【技】 ①② ☆【知・理】 ②</p>
なか	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>ねらい② 基本的なボール操作や仲間と連携した動きでゲームを楽しむ</p> </div>	

<p style="text-align: center;">第 6 時 ～ 第 12 時</p>	<p>8 個人技能の練習をする。        ・ゴール下連続シュート        ・サークルドリブルシュート        ・パス・ランニングシュート        【資料①～③参照】        ○学習カードに自己技能の課題を記入する。</p> <p>9 コンビネーションプレーを取り入れグループ練習をする。        ○空いているスペースへの動き        ○インサイドスクリーンの動き        ○アウトサイドスクリーンの動き        ○ポストプレーの動き        ○グループで反省会を持つ        【資料⑦～⑫参照】</p> <p>10 ハーフコートでの3対3を練習する。        ○技術向上の練習方法を考える。        ○グループで反省会を持ち、課題や目標の設定、課題解決のための工夫を考える。        【資料⑦～⑫参照】</p> <p>11 オールコートで3対2、4対3の練習をする。        ○アウトナンバーの状況からノーマークをつくってシュートをする。        【資料⑬、⑭参照】</p> <p>12 オールコートで3対3の練習をする。        ○アウトナンバーの状況をつくり、ノーマークでシュートをする。        【資料⑦～⑮参照】</p> <p>13 簡易ルールでのゲームを行う。        ○ハーフコートでの3対3        ○オールコートでの3対3        ○オールコートでの4対4</p>	<p>○基本的なボールコントロールを身に付けさせる。</p> <p>○コンビネーションプレーの種類も含め、グループの課題に適した練習をしているか確認させる。        ○練習場所の安全に気を配らせる。        ○個々の技能・体力に応じたプレーを行うようにさせる。        ○課題や目標の設定、課題解決のための工夫させる。        ○スクリーンプレーやポストプレーで空間をつくり、シュートまで結びつけることができるようにさせる。        ○3対3のコンビネーションプレーなどのグループの課題を分析させ、課題解決のための練習方法を工夫させる。        ○3対3のコンビネーションプレーの技術的なポイント理解させる。        ○自分の守る相手とゴールの間に立って、ディフェンスが出来ているか確認させる。</p> <p>○オールコートでアウトナンバーの状況からノーマークを素早く探し、シュートまで結びつけることができるようにさせる。</p> <p>○速攻ではアウトナンバーの状況をつくり、ハーフコートでは3対3のコンビネーションプレーからシュートに結びつけることができるようにさせる。        ○戦術などのグループの話し合いに積極的に参加させる。        ○安全上の留意点を試合場面に当てはめて活動させる。        ○積極的に仲間に声をかけ、協力してゲームを進められるようにさせる。        ○グループの作戦や個人の課題を意識してゲームができるようにさせる。        ○フェアなプレイを心がけ、セルフジャッジによりゲームを進められるようにさせる。</p> <p>☆【関・意・態】 ④⑤        ☆【思・判】 ③④        ☆【技】 ③④⑤        ☆【知・理】 ③</p>
<p style="text-align: center;">ま と め  第 13 時</p>	<p>14 学習のまとめをする。        ○チームごとにゲームを振り返り、学習カードに記入する。        ○個人やチームの課題と成果をまとめる。</p>	<p>○学習を振り返らせ、バスケットボールの特性を再確認できるようにさせる。        ○今まで学習してきた技術や学び方の内容が今後どのように生かせるか考えさせる。</p> <p>☆【思・判】 ⑤        ☆【知・理】 ④</p>

ゴール型：バスケットボール [第3学年]

(20時間計画)

過程	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (☆)
はじめ 第1時	<p>1 オリエンテーションを行う。 ○単元の目標、バスケットボールの特性、ねらい等を知る。 ○学習の見通しをもつ。 ○学習カードの記入の仕方、学習資料の活用方法を知る。 ○課題のとらえ方や解決方法の選び方、評価方法について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ねらいと道すじ、めあてのもち方、授業・練習の進め方、約束ごと、学習カードの活用方法</p> </div> <p>2 グループ編成をする。</p> <p>3 授業の流れに沿って実際に活動する。</p>	<p>○単元の目標やねらい、バスケットボールの特性や学習の進め方、学習資料の活用方法、評価について理解させる。</p> <p>○準備運動の行い方、用具の準備、片付けの手順について説明し、理解させる。</p> <p>○施設・用具の安全管理と、安全に活動することができるように役割分担させる。</p> <p>○バスケットボールの学習によって高まる体力を理解させる。</p> <p>☆【関・意・態】③ ☆【知・理】①</p>
第2時～第13時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ねらい① チームの作戦を生かした攻防を展開してゲームを楽しむ</p> </div> <p>4 個人技能の練習をする。 ・ゴール下連続シュート ・サークルドリブルシュート ・パス・ランニングシュート ・1対1 (ピボットターン、フェイク) ○学習カードに自己技能の課題を記入する。【資料個人技能練習①②③参照】</p> <p>5 ハーフコートの3対3を練習する。 ○技術向上の練習方法を考える。 ○ディフェンスのポジショニングを確認する。 ○グループで反省会を持つ。</p> <p>6 オールコートの3対2、4対3を練習する。 ○アウトナンバーの状況からノーマークをつくってシュートをする。 【資料オールコート3対2、4対3参照】</p> <p>7 オールコートの3対3を練習する。 ○アウトナンバーの状況をつくり、ノーマークでシュートをする。</p> <p>8 セットプレイの練習をする。 ○5対5の攻防を想定した動きを考え、ゲームで使えるようにする。 ○コンビネーションプレーを練習する。 ○攻撃のバランスを1-3-1、2-3とし、部分的に2対2で攻撃するパターンを練習する。 【資料2対2の攻撃例参照】 ○グループで反省会を持つ。</p>	<p>○仲間とともに協力しながら活動できるようにさせる。</p> <p>○基本的なボールコントロール、ピボットターン、フェイクを身に付けさせる。</p> <p>○グループや個人の課題が明確かつ適切であるか確認させる。</p> <p>○技術のポイントについて、仲間同士アドバイスできるようにさせる。</p> <p>○3対3のコンビネーションプレーなどのグループの課題を分析させ、課題解決のための練習方法を工夫させる。</p> <p>○マンツーマンディフェンスをできるようにさせる。</p> <p>○課題や目標の設定、課題解決のための工夫をさせる。</p> <p>○オールコートでアウトナンバーの状況からノーマークを素早く探し、シュートまで結びつけることができるようにさせる。</p> <p>○速攻ではアウトナンバーの状況をつくり、ハーフコートでは3対3のコンビネーションプレーからシュートに結びつけることができるようにさせる。</p> <p>○5対5の攻撃の中で、コンビネーションプレーをできるようにさせる。</p> <p>○部分的な2対2の攻撃の中で、カットイン、スクリーンプレー、ポストプレーで攻撃できるようにさせる。</p> <p>○マンツーマンディフェンスをできるようにさせる。</p> <p>○グループの課題解決のために、仲間で話し合いができるようにさせる。</p> <p>○3対3のコンビネーションプレーで、グループの連携がとれるようにさせる。</p>



な か	<p>9 簡易ルールでのゲームを行う。        &lt;ハーフコートの3対3&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○5分ハーフでゲームを行う。          ○センターラインから攻める。          ○ディフェンスがボールを取った時と、シュートが決まったときに攻守交代とする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○5分ハーフでゲームを行う。          ○センターラインから攻める。          ○ディフェンスがボールを取った時と、シュートが決まったときに攻守交代とする。</p> </div> <p>&lt;オールコートの3対3&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○センタージャンプからゲームを始める。          ○5分ハーフでゲームを行う。</p> </div> <p>&lt;オールコートの4対4&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○センタージャンプからゲームを始める。          ○5分ハーフでゲームを行う。</p> </div>	<p>○速攻ではアウトナンバーの状況をつくり、ハーフコートでは3対3や4対4のコンビネーションプレーからシュートに結びつけることができるようにさせる。        ○仲間の良さを認め合い、互いに協力し合いながら取り組むようにさせる。        ○全員でゲームの運営に協力させる。        ○課題や目標の設定、課題解決のための工夫をさせる。</p> <p>☆【関・意・態】 ①②④        ☆【思・判】 ①②        ☆【技】 ①②③        ☆【知・理】 ②③</p>	
	第 14 時 ～ 第 19 時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>ねらい② 対戦相手に応じた作戦を仲間と連携しゲームを展開し楽しむ</p> </div> <p>10 5対5のゲームを行う。        ○オールコートの5対5        ○6チームのリーグ戦を2回行う。        ○対戦相手に応じた作戦でゲームを行う。</p> <p>11 グループで毎時の反省をする。</p>	<p>○グループの作戦や個人の課題を意識してゲームに参加させる。        ○今まで行った個人技能や集団技能の練習方法をもとに、自己やグループの課題を明確にさせ、課題解決に向けた練習ができるよにさせる。        ○積極的に仲間に声をかけ、協力してゲームを進められるようにさせる。        ○ルールについて理解させ、ゲームの中でセルフジャッジができるようにさせる。        ○仲間の意見を積極的に取り入れて次のゲームにつながるような反省ができるようにさせる。</p> <p>☆【関・意・態】 ⑤⑥        ☆【技】 ④⑤        ☆【思・判】 ③④</p>
		ま と め	<p>12 学習のまとめをする。        ○チームごとにゲームを振り返り、自己評価や相互評価を行い、学習カードに記入する。        ○個人やチームの課題と成果をまとめる。</p>